

内谷春日神社太々神楽

4月20日、春日神社例大祭で町無形民俗文化財の太々神楽（保存会佐藤清二会長）が奉納されました。当日は、「猿田彦」「岩戸開」の代表的な舞など「十二座」の舞が笛や太鼓の演奏にあわせて披露されました。

太々神楽は、明治15年に田村地方から伝わり、その

後一旦は途絶えましたが、伝統を受け継いだ楽人の思いと、小・中学生の育成により、見事に復活しました。太々神楽保存会は、例大祭の1カ月前から練習を始め、町のイベントにも参加し、神楽の魅力を発信しています。

時折、桜の花びらが舞う中、この伝統的な神楽を後世にも伝えていきたいという楽人の願いが溢れた力強い舞が会場のみなさんを魅了しました。

御神囃しの舞

前日の練習風景



国堅の舞

文化財ボランティア登録証交付・公開研修会

4月26日、観月台文化センターにおいて町文化財ボランティアに対する登録証の交付と公開研修会が教育委員会の主催で行われました。

今回の登録は、昨年度「文化財ボランティア養成講座」を修了した3人を新たに加え、全21人に岡崎忠昭教育長から登録証が交付されました。

登録証交付に引き続き行われた公開研修会では、長岡信悦さん（NPO法人朝日町エコミュージアム協会理事長）より『山形県朝日町エコミュージアムの取り組みについて』をテーマに講演をいただきました。

朝日町では「町全体が博物館、住民ひとり一人が学芸員（解説・研究を行う職業）」（エコミュージアム）



長岡信悦さん

をめざし、平成元年に研究会が発足して以降、先駆的な取り組みが続けられています。住民が主体となり地域の宝を発見・発信する活動に、国見での可能性を感じる講演となりました。

国見町文化財ボランティア

町内外の学校・見学団体に対して、案内ボランティアや講演会等のイベント運営協力を平成20年から行っています。昨年度は、のべ1700人に町の魅力を伝える活動を行いました。

〈事務局・問合せ先〉
生涯学習課
☎585・2676

農業委員会の動き

4月23日定例総会が開催され、次のとおり確認されました。

・農地所有権移転	2件	5月の農業委員会定例総会は次のとおりです。傍聴においでください。
・農地改良行為	1件	・日時 5月22日(木) 午後1時30分
・農地利用集積計画の決定		・場所 観月台文化センター大研修室
・農地所有権移転 賃貸借 合意解約	4件	◆問い合わせ 農業委員会 ☎585-2890

平成26年春の全国交通安全運動

4月4日、春の交通安全運動の出動式が、福島北警察署桑折分庁舎で行われました。出動式の後は、コープマートふくしま国見店で交通安全協会や交通安全母の会の皆さんが、来店者一人一人に声をかけながら、交通事故防止を呼びかけました。

4月6日から15日の10日間、春の全国交通安全運動が実施されました。「事故のない 明るい未来は 君の手で」をスローガンに「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本として、交通事故防止を訴えました。



交通事故防止啓発

春の交通安全出動式



みんなで交通安全守ります

桜のライトアップ



4月9日、観月台公園の桜がライトアップされました。点灯式では、太田久雄町長が「震災の復旧・復興を行っています。今年は皆さんが元気になる多くのイベントを行っています。今年も目だけではない、今年も目だけではなく、ご当地グルメの「国見バーガー・II」の販売のほかに土日には町内外からキッチンカーが出店し、多くの家族連れやカップルのお腹も魅了しました。

の公園に浮かび上がった。今年は公園内に光のアーケードが作られ、多くの人の目を魅了しました。また、今年も目だけではなく、ご当地グルメの「国見バーガー・II」の販売のほかに土日には町内外からキッチンカーが出店し、多くの家族連れやカップルのお腹も魅了しました。

春の町民ウォーキング大会



4月26日、春の町民ウォーキング大会が開催されました。ピンク色の桃の花が咲き誇る6・6kmのコースを参加者約80人が思い思いのペースでウォーキングを楽しみました。今年、国見町東部高齢者等活性化センターを発着、下二重堀地内で文化財ボランティアによる中尊寺ハスについて、また、JA伊達みらい桃部会の

井砂善栄さんから桃に関する説明を受けました。準備体操やウォーキング後の整理体操ではヤゴメディカルフィットネスクラブの齋藤指導員から笑いを交えた指導があり、晴天のなか、歴史や自然に触れ、心も体もリフレッシュすることができた一日になりました。